

# 大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

日 時：令和 7 年 12 月 25 日（木） 14 時 00 分～16 時 10 分  
会 場：役場 3 階 大会議室

～ 次 第 ～

1. 企画財政課長 挨拶
2. 自己紹介
3. 会長・副会長の互選
4. 議題
5. その他

※委嘱状は机上において交付

## ■人口ビジョンの改訂について

事務局

大刀洗町人口ビジョン改定は、基本的には毎年行っているものです。改定の内容はその年々によって異なりますが、基本的には数値の更新というところが主なところになります。今年も主に数値の更新がメインになります。

～資料 1 に沿って説明～

人口ビジョンの数値の更新についての説明は以上です。

委員

24 ページの空き家の数の推移ですが上の棒グラフの 2018 年が 205、2022 年が 214 差が 9 戸。この 9 はどこから来るのか。一番下の表と数値が合わないのではないかと思います。

事務局

上と下のグラフは別で、上は住民課の空き家調査で把握した数を載せています。下の棒グラフは、税務課の固定資産の部分で把握している新しく建てたり増築したりした木造などの家の数になります。

委員

結局世帯数が増えているということですか。

事務局

一定数家屋も増えていますが空き家も増えている状況かと思います。

会長

社会増と自然減により、元々住んでいる方が亡くなり空き家になって、新しくできた家に外から人が入るといった状況ですね。

委員

9ページの社会増減の推移ですが、4ページを見ると2023年から2024年は外国人人口が約70人増加していると思いますが社会増の内訳は掴んでいますか。

事務局

社会増における外国人の人数は把握できていない状況です。手元に資料はないですが、どのくらいの方が新しく入られたかは出せると思います。4ページの外国人人口はの最新値は2025年度末に出る予定です。

委員

20ページの合計特殊出生率のところ、かつては2ぐらいあったのが1.36に落ちて1.46その後横ばいのようなのですが、町として何が要因と考えますか。

事務局

全国的な流れであるということに依るものなのか、本町特有の要因があるのかまでは把握していない状況です

委員

今までは、非常に高かった、全国的に注目をしていたのもあったので、それがガクッと下がっている傾向というのは、何なのかと、全国的な傾向とはまた違った何か要因というのがあるのではないかと考えています。

会長

7ページの人口の特徴のところ、一番出産が多くなりそうな年齢のところは、ガクッと明らかに減り始めている感じはあります。子育て世代の方が移住というか、転入されているケースが多くて、新婚みたいな方があまり入ってこられていないという感じではないですか。

**事務局**

正確な数値というところは、データ抽出しづらいものにはなっております。ただ、出生数は落ちている、その原因が何かというところだと思いますが、色々な要因があるために、これだと特定するのは難しいところもあるのかなと思いますが、今後の人口を捉える中で、住みやすさですとか、こういった部分なのかという分析は必要になるかと思えます。

**委員**

26 ページの医療福祉ですが、後期高齢者数の推計とありますが、医療機関の数や医療の内容が分かる資料もあるといいのかなと思いました。

**事務局**

健康課などそのようなデータを持ち合わせている課と協議して見直しが必要か検討したいと思えます。

**委員**

数名の委員の方からあった質問で外国人の人口の増減について、例えば技能実習生として入られた方などは短期間の滞在として、それ以外の定住型の方も少し増えているように感じています。まだ、その辺りの切り分けが取れていないような気はしますが、今後色々な施策等に関わってくる内容だと思います。自分の職業で助言させていただきますと、他の同じような地域で仕事した際に定住して出産される方もいて本町でもそういうケースも上がってきています。そこで生じる問題点はサポートが追いついていない、専門職の方が追いついていないだけでなく、おそらく行政などのサービス、あるいはその周知の仕方が後手になっているということも多く見受けられますので今後はデータ的に把握されるといいと思えます。

空き家の件ですが、空き家バンクに登録できるようなケースと、廃墟寸前みたいなケースと、そこまではいかないけど、などいろんなカテゴリーがあり、利活用するにあたって基準が全然違うと思えますのでその辺も明確になっているといいと思えます。

**委員**

9 ページの社会動態の数値が 205 ではなく 232 だと思います。

15 ページの将来人口の推計が少なくなっていくのには何か要因がありますか。

**事務局**

9 ページの数値は改めたいと思えます。

15 ページの将来人口推計は 2020 年の国勢調査をもとに国の国立社会保障・人口問題

研究所が出したものになります。本町の場合は 2015 年の国勢調査の実績から 2020 年も人口が増えているのでこの傾向を保つというところで 2025 年まで増えるだろうという推計となっております。それ以降は全体的な国の見方に基づき推計が行われているところです。それを踏まえて 36 ページで社人研の推計（グレー）で今後地方創生の取り組みをしていき人口を維持していきましょうということで目標人口（オレンジ）を昨年度表示させていただいたものになります。

先ほどご助言いただいた外国人の方の資格別や技能実習生の割合は昨年度の審議会においても同様のご意見をいただき、その年度あたりの数値として捉えておるものになります。空き家の件は住民課で空き家の実態調査を行っておりまして、A や B の判定をつけて把握しているものになります。この人口ビジョンも全て載せてしまうと膨大な量になりますので、こういった審議会の場で提供させていただくなど資料の工夫をさせていただきたいと思います。

#### 事務局

空き家について補足です。24 ページの 214 の内訳として不良度ランク別では A、B、C、D とあり、214 のうち A が管理に問題がなく居住可能で 140（約 65%）となっております。B の 58 は補修すれば住める、居住不可となっているのは 214 の内 C が 6、解体等の緊急度が高い D が 10 の 16 となっております。

#### 委員

22.23 ページの乗降客数の推移ですが、2020 年以降回復傾向にある要因は何でしょうか。

#### 事務局

一番大きな要因は 2020 年の新型コロナウイルスの影響で急激に落ちてその後一部回復したというところかと思います。大きな施設等もできておりませんので、そこが一番大きい原因かと思っています。ピーク時からするとかなり減っていますが、ベースは横ばいです。

#### 会長

他にないようですので協議事項 2 の第 3 期大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略について事務局より説明をお願いします。

### ■第3期大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

#### 事務局

それでは大刀洗町よかまち創生プロジェクトについて資料2に基づいて分野ごとにご報告いたします。

～資料2(1・2ページ)に沿って説明～

#### 委員

イベントの開催のところ、数値目標が来場者数となっていますがこの数をどのようにして出されたのか。

#### 事務局

来場者数の把握の方法ですが、枝豆収穫祭においては、枝豆の販売を実施し、枝豆のセットの販売数に応じて1家族平均3人として計算して、9500という数値を出しています。個別にカウントしたりしているわけではなく、何セット売れたかでご家族を中心に来場したところから9500という来場者数を取っているというところになります。

#### 委員

空き家の利活用についてですが、ただマッチングさせるだけではなかなか難しいのかなと思います。大刀洗町に限らず空き家は将来的に大きな問題なので、もっと積極的に取り組まないと難しいのではと思います。町としてどう活用していくかというアイデアなり支援をしていかないと解消できないと思っています。大刀洗町にはもう一つ課題があって、食事をする場所がない、特に高齢者がちょっと行って高齢者向きの食事をする場所がないので空き家を活用してそういうところを町で支援していく、高齢者の方の力を借りて食事を支援するなど、何か町の施策としてこういうものはどうですかというものを打ち出していないと、空き家があります、どうですかでは難しいのではないかと、だから課題と課題を結びつけて活用していくなどのアイデアを出していったほうがいいと思います。

#### 事務局

高齢者の独居世帯も増加している現状があり、大刀洗町はどちらかというと新しい菊池の方ではアパートが中心ですが、一軒家でお住まいになられている方が比較的多く高齢者一人暮らしの世帯が増えているかと思います。その方たちがお亡くなりになると、より空き家の数自体も増えていこうというところがありますので、活用の部分で課題と課題を結びつけていく視点というのは非常に大事なかなと思います。また各課

とも共有させていただきたいと思います。

委員

同じ空き家利活用総合プロジェクトについて、今回成約はゼロということですが、これは空き家バンクのことですよね。町の空き家バンクの HP を見たのですが、登録が2件くらいしか見えなかったのですが、空き家の調査では AB ランクだったら70くらい、80くらいあると言われているのに2件ですか。

事務局

町の空き家バンクに登録されているのが2件というところで、民間の流通に乗っている部分もあるかとは思いますが。ただ町の空き家バンクに登録されている方は民間との併用はできないようになっておりますので、今確認していただいた2件というところで、なかなか増えていかないような現状と考えます。

委員

このよかまち創生プロジェクト（KPI）の成約というのは空き家バンクを活用した場合ですか。

事務局

空き家が売買・賃貸されると成約となりますので、登録は2件あるありますが、売買とかそういった成果には結びつかなかったというようなところです。民間の空き家活用については把握できていない状況です。

委員

実際には空き家が活用されている可能性はゼロではなく、民間で活用されている可能性はあるが行政として把握している数字はこの数字ということですね。

委員

1の1久留米圏域の今年の3353とはどのような数字ですか。

事務局

こちらは私どもが第二世代の交付金活用し久留米の連携中枢都市権の枠組みのなかで、掲載しています。この数値というのは、久留米圏域の人口の推移と実態の差がどれだけあるかというのが、3353のプラスであったというところになりますので、単体ではなく、連携市町の実績を合計した数値と認識いただければと思います。

委員

数値が低い方がいいということですか。

事務局

この場合は高い方がいいかと思います。実績がよりいいという方になりますので。圏域でも KPI を決めて、進めていきたいと思います。

委員

基本的目標 5 つありますが、それぞれの事業が基本的方向にエフェクトがあったのかが見えてこない。毎年度出すものではないのかもしれないが事業内容の振り返りはそれぞれが出ているが、先ほどの、えだまめ収穫祭では購入者の人数をもとに来場者数を出されている。これが、行ってみたい、住んでみたいというところにそもそも合っているものなのか。

ここではなくて、例えば、魅力ある農・商工業などの仕事の方に関連する内容の事業になるのかなと見受けられるが、その年度ごとに内容を変えていきたいと思います。ご提案ではなくて、5 年に 1 回見直しをされている中で、この事業に関しては、これは目的としてやっていたけれども、効果としては、基本目標に対してよりはこっちの方にエフェクトが見受けられるということであれば、そういう方向を検討しながらこの 5 年間、残りもう 4 年間そういうアプローチの仕方が必要ではないかと思います。

来場者数は購入者数で出しているとのことですが、実際購入されていない方もいらっしゃるし購入することを目的としている事業ではないと思います。効果として何が見られたかという枝豆が有名になって枝豆購入増加にもつながると思うので、この事業のエフェクトが「行ってみたい」になるのか疑問視しました。他の項目（基本的目標）の方が評価しやすい印象を受けました。

委員

交流人口という捉え方で、交流人口を増やしましょうという括りでイベントに来た人となり、住んでみたいではなく、行ってみたい、交流人口がどれだけ増えたか把握するという切り口かなと思います。だから 9500 のカウントの仕方が、買った人をベースにカウントをしたという方法に少し問題はあるかとは思いますが、目的はあくまで交流人口を増やすという目的でイベントをやって、その交流人口をどのように数えるかということだと思います。

委員

私も表現は違いますが同じ思いです。交流人口でとなると来場者数は町内の人も入る形になるのでカウントの仕方が難しいと思います。その仕分けをどうするのかなど

もあるので。交流人口を目的としてこの事業をここに入れると結局その事業は何を目標に掲げてやっているのかがイベントありきみたいになってしまうし、だったら、いっそのこと、枝豆を売ります、有名にしますっていうところに持っていく方が、整合性があるのかなと思います。

#### 事務局

これは第 3 期を始めるにあたって、話を進めていた中では、交流人口としてまず来てもらって、そこから関係人口、つながりを持っていただく方になって、住んでみようかというようなステップがあるという移住定住に向かって進めているところです。このステップの中で、①-1 と①-2 の濃淡みたいなところで関連性を進めていっているような建付けにはなっていますが、ただ一方で来場者数についてはこれまでそのようにカウントしていた経緯もありますのでそこを変更することが今までの軸とぶれてしまうようなものも含まれるのかなと思います。

一方で、施策の目的は一つだけではないということもあり、町製品の PR や、大刀洗町に来ていただくために町製品を活用してますので、相互に連携をしているものになるかと思います。仕事や、農の部分はどう PR していくかもありますし、魅力発信のものであるので、これはやはり捉え方、切り口のお話かなと思っています。今回の第 3 期においては、交流人口をまず来ていただくという視点をもって、このイベントの開催というような位置づけをしておりますが、やはり 5 年に 1 回行う見直しの中では、事業の方向性等を審議委員の皆様と、担当課と含めて確認をして、整理していく必要があると思います。

#### 会長

来場者数と書いてあるところに何を測っているのかを※印で書くなどはできるかもしれませんが。厳格に町内の人と町外の人を分けるというのは難しく、あくまでも目安としているものなので、実施状況や注意事項として記載するとか、可能な範囲で審議委員の皆さんが分かるようにしていただければと思います。また、議論になった圏域人口は、我々だけではどうにもならない話も KPI に入っているので、その辺の文脈がわかると思います。逆に数字を達成したか、してないかという話はこういう場ではなりやすい。そうではなくて、事業を実施するとこういう効果があったというのが言えるようになるといいのかなというのが今の議論です。

続いて資料 2 の 3・4 ページの説明を事務局お願いします。

#### 事務局

それでは資料 2 の 3 ページからご説明いたします。

～資料 2 (3・4 ページ) に沿って説明～

会 長

3 ページ目の③の 2 プレミアム商品券の策定値と目標値のカンマの位置の訂正をお願いします。

事務局

訂正いたします。ありがとうございます。

委 員

③-3 のマルシェ事業は早くから力を入れてあるので、それを売ったり作ったりするだけでなく高齢者の労力として協力してもらえないのかなと思います。働く場の創設にもつながるし交流の場にもつながる。先ほど言ったように空き家の活用を町として促すとか、今、道の駅を作ると言われていますが、そういうものを作るのであればその一角で高齢者の方がいろいろなものを食べるものやいろいろなものを提供するような場所をぜひ作っていただいて高齢者の生きがいになるよう、そして産業の進行にもつながると思っています。

それと農業の面ですけれども大刀洗町は、毎年就農者が減っている、後継ぎがないという状況なので先ほど言われたような後継ぎの方を支援するのはすごくいいことだと思います。農業には早く力を入れていかないと、もう農業を辞めたという人が出てきていて、うちみたいな農村地帯でも町外の方が土地を借りて農業をしている、みたいな状況に陥ってきている。これは早く大刀洗町で自立して農業をやれるような町になるように施策として力を入れてほしいと思います。

事務局

担当と共有していきたいと思います。ありがとうございます。

委 員

創業支援事業についてですが、地域合同のセミナーは久留米、大刀洗、小郡の3地区と一緒に創業セミナーを開催されています。3地区を1年越しに回すので、3年に1回しか大刀洗町が開催していないというのが現状です。

金融機関としては、もし一緒に連携してできるのであれば、我々もお手伝いできるかなと思っておりますので創業支援事業計画を少し見直していただければと思います。

金融機関を入れて創業支援事業に合うような補助金をきちっと出せるようなスキームをもう少し見直していただくともっと方法がたくさんあるのではないかと感じます。実際補助金も作ってらっしゃるので、これもホームページを見ると分かりますが、チラシか何か作って創業者には最高60万補助しますよとか、もう少しPRも上手にやるといいのではと思いつながりながらホームページを拝見しました。

新規就農、農業の後継者事業承継はここに挙がっていますが、やはり一般の事業所も事業承継のお手伝いをするべきというか、福岡県も事業承継引き継センターをされてますし、そういうのも一緒に利用しながらされるといいのではと思いました。

#### 委員

大刀洗町パートナー企業の中で企業誘致の取り組みで町外から来られる企業も空き家など活用するというような着眼点もあってもいいのかなと思いました。

#### 委員

親元就農支援のほか、三大都市圏からの移住者に対する移住支援金がありますが、結局プロモーションを一生懸命やっても、移住先の選択肢や、同じような施策をしているところは全国にたくさんあります。

第一次産業に携わりたいと思っている人の方が、都市圏から移住されているケースは多いようです。移住のプロモーションとして、住みやすい、子育てがしやすい等は多分どこもやっていて選択肢に引っかかりにくい。福岡に近いと言っても、三大都市圏からの人たちにとっては、それは当たり前なのであえて遠くから来ようというときには少し不便でも住みたいというワードに引っかかるっていうのは、やはり第一次産業に携わって生計を成り立たせることができるかが重要かと思います。Uターン者とは異なる状況で大刀洗町に来ようと思う人は、農業を希望する人などにターゲットを絞って、実際そういう自治体は多いので、どこをどう埋めてというところを少し考えられると、実際やりたいけどやれない、情報がなくて都市部から来れないなど、そこの兼ね合いも考えられてもいいかなと思います。

かててマルシェは長くされていて参加者数も増え、規模も拡大し、すごくいい方向に進んでいますが、こちらは経済的な自立を促すという側面もあったのではないかなと思っています。人によって状況は異なりますが、自立できそうな人がどんどん稼いでいただいて、町の就業人口の中に入れていただくべきだと思います。先ほど別の委員が言われたような創業支援と組み合わせて、起業をご自身でやっていただくようにしていくとよいと思います。参加者へ向けて自走できるような方向で意識づけはされていますか。

#### 事務局

今年度の状況については把握していませんが、昨年度については創業セミナーのご案内を、かててマルシェに参加されている方に配布したり、促したりしていますが、この項目が多様な人材の活躍の場を作るという部分もあるので、全ての方がそこがゴールになっていくかというのは、また違ってくるのかなと思いつつ、ただ創業のきっかけにはなるとは思うので引き続き共有、連携は担当課でもしていただくようにお伝えしていきたいと思います。

**委員**

いろんな方と連携して自身で稼げる、稼ぎたいという人にはそういう機会、情報を提供する、必要であればサポートする。マルシェに関しては一部の校区で実施されているところもあり、自分たちが企画してその場所を借りるのも手続きは町がすることではなく、自発的にできるように後押しするというふうな時期にきていると思います。

**委員**

数値目標で町内事業所の従業員数の話で、この数字が 5 年に一度出るとのことですが、1 年ごとの進捗状況のチェック等はできないのでしょうか。

**事務局**

経済センサスの統計の結果なので 5 年に 1 回数値が更新されるところです。

**委員**

他に事業所の従業員数という統計は他にはないですか。

**事務局**

町内の事業所の従業員数等で全体的な雇用を見るという風になるとこの統計情報に頼らざるを得なくなるというところです。商工会の会員数は商工会に出していただける数値だとは思いますが。

**委員**

進捗状況をチェックする上では何か参考になるような数字みたいなものがあるといいのかなと思います。

**会長**

電車などの乗降者数と同様に、商工会の数字を暫定的に使うことはロジックとしては成立しそうですね。策定時の目標と一緒の数値というところは維持ということになると思いますが。

**委員**

公共交通の利用促進について、町内の駅の乗降客数を数値目標としていますが、三井中央高校が今年度で廃校になります。最後の学年の生徒が 200 名ほどいるそうです。その影響が、乗降客数に反映されるのではないかと思います。町内の 3 駅に関しては PR していても、それはどうしようもないのでは。多分、甘木・朝倉方面に関しては通学する高校生ぐらいになるとなった場合、現状維持が精一杯だと予測されますが、交

通事業者と何か検討していることなどの情報交換の場があったりしますか。

#### 事務局

甘木線に関しては西鉄と 3 市町と県に入っただいて情報交換や利用促進の協議の場は定期的に持っているところです。先ほどお伝えした通りピーク時からするとかなり激減しています。ここに載せた PR とかイベントというのは、一つの手法であって、この乗車数に寄与するのであれば 例えば周辺の移住定住とかですね そこに結びつかないと結局乗る人が増えないと 定期的に乗る人が増えないと この数値も上向いていかないという 本当に色々な要素や利用促進にもいろんな分野があるというところにはなります。そのイベントも、まず鉄道がある町であることを認知していただく、その第一歩目として捉えているところであります。ただ、どうしても単発になるので、いかに日常の利用を増やすかということを協議しているところです。

#### 委員

要は利用者数を増やすという方向性を、町はどう捉えるかというところで質問しました。西鉄に乗る人をどう増やすのかというときに、使っていない人をどう利用させるのか。今車で移動している人を西鉄に乗せるためにはどうするのかという形が何かあるのか。大刀洗校区に関しては、あそこまでは車で行くけれども、電車に乗れるのであればそこから乗りますという人の人口を掘り起こしてつなげる構成はあってもいいのかなと思います。もちろん PR は必要だと思います。

#### 事務局

車からの行動変容は、非常に大事な視点であって、とても分厚い壁でもあるなと思っています。町の取り組みとしては、パーク&ライドとして役場駐車場一部を整備したり、令和 2 年から令和 3 年度は大堰駅、本郷駅の近くに送迎専用の待機場を整備したりしています。

ただ現段階ではその他の取り組みは実施していない状況になっておりますが、日常の車に乗られている方を一人でも利用につなげるという施策は重要であると認識しております。

#### 会長

続いて資料 2 の 5・6 ページの説明を事務局お願いします。

#### 事務局

それでは資料 2 の 5 ページからご説明いたします。

～資料 2 (5・6 ページ) に沿って説明～

**委員**

横断的視点の多様な主体との連携・協働・参画の仕組みについては、大刀洗町パートナー企業との連携をやるのであれば、その数値自体をここに載せることはできないのでしょうか。

**事務局**

その中で連携の件数等もあれば、連携協定の件数としているので、協定を結んだ件数をこのKPIに用いているというところがあります。ここに用いる数値は、例えば、町が企業さんとの協定を結んでいる個数というふうになっているので、連携数とはまた違うところになります。実際に大切なのは、どういう連携をしているかとかだと思うので、こちらの仕事の部分と合わせて見ていただくというか、ご報告するのがいいのかなと思います。

**委員**

単純にパートナー企業として登録というか、連携というところであればカウントしてもいいのではと思いました。

**会長**

パートナー企業はそもそもいろんな連携があり、経済的な事象だけではない部分もあると思います。

**事務局**

ただその考え方というのはもちろんパートナー企業と合致するものではありませんので、連携の事例として情報提供していければと思います。

**委員**

応援大使の人数は総数が935人となっていて、5年後1500人を目標にしてどのような効果を期待されているのでしょうか。

**事務局**

こちらは魅力の発見を探したいとか、魅力の発信を届けたいという事業なので、町の魅力と一緒に発信していただく方が応援大使で、そういった人がたくさん増えていくことで、町だけではなく、いろんなところで町の魅力を伝えられる人を育てていくというような事業になりますので、そこから魅力が伝わっていくことが最終的なゴールになるのではないかと思います。

#### 委員

先ほどの応援大使の町のイベントの参加数 4 名のうちの 1 人が私ですが、935 名いても、参加する人は 4 名です。第一次募集では出される方がいなくて、第二まで募集がかかっても 4 名となると、確かに分母数を増やすことも必要だと思いますが、何を期待するのかなどの意識づけも大切だと思います。数を増やすことが目標になると、事業の目的がぼやけてくると思います。その辺を審議にさせていただくのもいいのかなと思います。この 4 名のうちの 1 人として、もう少し参加される方がいるのかなと私は思っていました。

#### 事務局

色々な考え方があると思っております、この応援大使がいわゆる総務省でいう関係人口のようなところだと思いますが、町内、町近辺ではこういうイベントの参加というのがありますが、例えば東京の人や遠くの人がここで登録した場合、色々な情報を発信することになるのでは、もしかしたらふるさと納税を寄付いただくとか、福岡に来た際に大刀洗に立ち寄るとか、町のことを定期的知って、移住しようとなったときに大刀洗町に来るいろんな関わり方がそれぞれにあるかと思えます。むやみに数を増やすというのは当然私もどうかと思えますが、大刀洗町を好きになってもらうとか、気になってもらって、それから何かしらいろんな展開、発展というのが将来的にあるかと思うので、引き続きこの事業についてはどんな成果が上がっているかということについては見ていければと思っています。

#### 委員

ぜひそのようにデータで見ていくことで評価ができるかと思えます。実際ふるさと納税の寄附をこういう方がリピーターでされている、あるいは U ターンしてきた、移住しましたという人が実はこれがきっかけでしたということが審議会に出せるといいのかなと思います。そうすると事業の意味が見えてくると思えます。

#### 会長

今のご意見を参考にさせていただくといいと思います。

#### 委員

資料の作成についてですが、前年度の今後の方針のようなものが掲げられると、それに対して担当課がどうしたのか、結果が反映されていない。担当の方たちは、こういう資料は評価するときに、どのようにされていますか。

**事務局**

昨年度の資料は照会の際に添付しているのですが、確かに単年度の状況と課題のみで、それに対する対応とか、令和 8 年度は令和 7 年度のこれを踏まえてこうしましたというつながりが見えづらい部分はあるので、そこは少し改善をしていければと思います。

**委員**

ぜひ入れていただけると、審議するときに、こういうことを改善しようと思ってやられたけれども、やはり数値として反映されなかったんだな、こういうふうにやられていても難しいんだなということが分かるので。

それぞれの施策が基本的な方向にどうエフェクトしているのかというのは、情報集約ではなくて評価をされるのはどこですか。

**事務局**

基本的に評価や検証は、この場合も評価検証だと思いますが、かなり個別の施策にお話が特化してしまうところもあって、この個別の施策が大きな目標に対してどのような作用があったのかという評価は、第 2 期の振り返りのときには企画財政課で、5 年のスパンであったんですけども、1 年毎というところでは、特段振り返っていない部分です。

**委員**

大まかでもいいので、この事業がこういう風にエフェクトがあったということをフィードバック的に各担当課に落とすと方向性が見えやすいと思います。策定委員会が策定時のみ設けてあるということであれば、この審議会で集約した各課の結果を報告しているということですね。

**委員**

たちあらい応援大使事業とふるさと住民登録制度の関りは。

**事務局**

大使事業は地域振興課が担当ですが、ふるさと住民制度の開始が来年ぐらいにはなってくるので、そこは統合されるかもしれないという話はされていました。

**会長**

これは 5 年先の目標に向かって積み上げていくというイメージですね。来年 2 年目の進捗が分かる。もう少しインプットとアウトプットの関係が分かりやすいように、た

だそこだけに注力するというのも行政サービスとしておかしい話です。あくまでも一つの KPI です。色々なことをやった施策の結果としてこれらの数字が上がるというのは理想的な流れです。確かにそこの検証をするというのは難しいかと思います。色々なご意見が出ましたのでよろしくお願いします。

会 長

他にないようですので協議事項 3 の第 3 期大刀洗よかまち創生プロジェクトの改定について事務局より説明をお願いします。

### ■第 3 期大刀洗よかまち創生プロジェクトの改定について

事務局

それでは大刀洗よかまち創生プロジェクトについて資料 3 に基づいて説明いたします。

～資料 3 に沿って説明～

会 長

今ありました通り、28 ページの主要事業②、仮名称から正式名称に変えたいということで、プロジェクトの内容を変えたいということです。よろしいでしょうか。特になければこちらは承認いたします。

協議事項としては以上です。ありがとうございました。事務局へ進行をお返しします。

事務局

ありがとうございました。では事務局より、その他事項として、地方創生 2.0 基本構想について参考資料をもとに情報を提供させていただきます。

～参考資料に沿って説明～

事務局

昨年度、よかまち創生プロジェクトについては見直しを行ったばかりです。一方で先ほどご質問があったふるさと住民制度など新たな制度も国からおりてきている状況。今後は情報を整理して必要性に応じて、審議委員の皆様のご意見をいただくほか各課において検討を進めていきたいと考えています。これは抜本的な見直しというよりは、現在の取組みと結び付け、再確認していくことになろうかと考えています。

**事務局**

今ご説明した中で何かご質問や、ご意見等はございますか。ないようでしたら、これをもちまして、第 1 回大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を閉会いたします。ありがとうございました。